# 週間天気予報解説資料

2026年11月24日10時00分発表
気象庁

予報期間　11月25日から12月1日まで

## ◆今期間のポイント

＜主要じょう乱の概要＞

・27日から28日にかけて、低気圧が中国東北区からオホーツク海に進み、前線が日本付近を通過する。また、日本の南を前線が東に進み、前線上に発生した低気圧が日本の東へ進む。
・29日から30日にかけて、高気圧が東シナ海から日本の東へ移動する。
・30日から12月1日にかけて、気圧の谷が北日本付近を通過する。

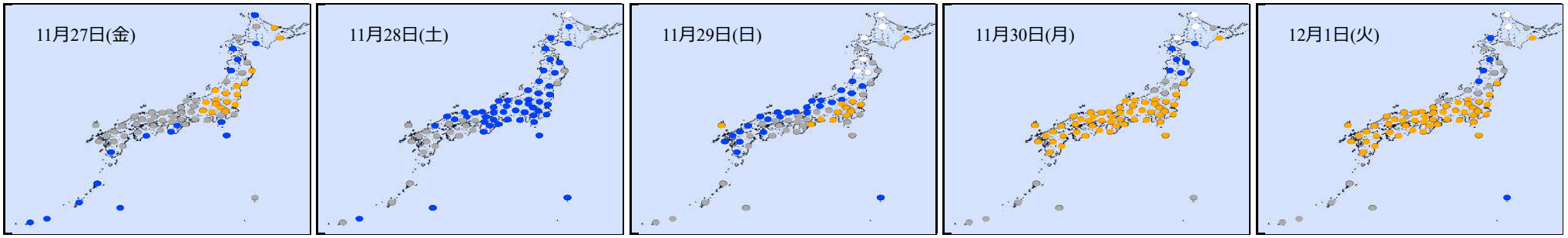
＜防災事項＞　11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

・なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

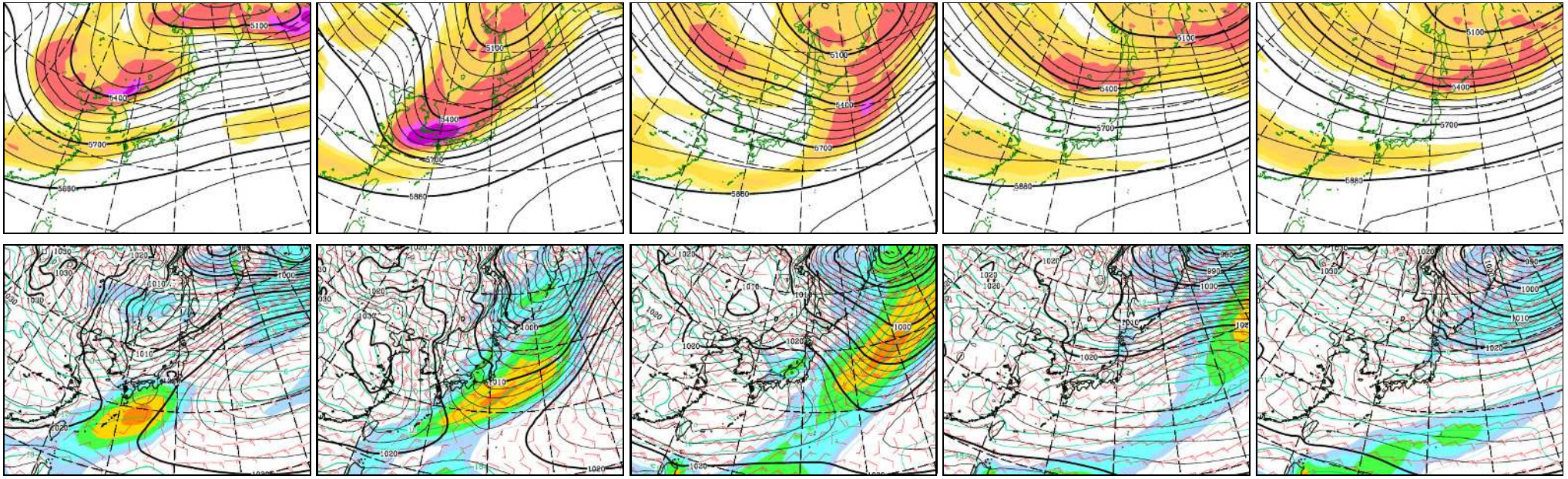
## ◆10時時点の３～７日目の天気予報案　(11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)




・北日本は、曇りや雨または雪の降る日が多い。
・東日本と西日本は、27日から29日にかけては雲が広がりやすく雨または雪の降る所がある。30日と12月1日は晴れる所が多い。
・沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、27日と28日は雨が降る所がある。

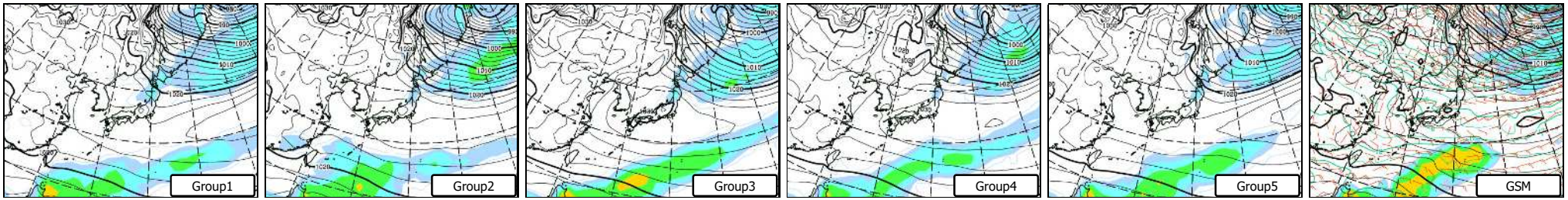
## ◆アンサンブル(ENS)平均予想図　上図：500hPa高度線、渦度　下図：海面気圧、地上風、850hPa気温、前24時間降水量(21時)

11月27日(金)　11月28日(土)　11月29日(日)　11月30日(月)　12月1日(火)



渦度($10^{-6}$/sec以上)　0　10　20　40　80　100　風速　10KT　50KT　降水量(mm/24hours以上)　2　4　8　16　32　64

## ◆12月1日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSM予想図　海面気圧、地上風及び850hPa気温(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)




風速　10KT　50KT　降水量(mm/24hours以上)　2　4　8　16　32　64

## ◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

・最新のアンサンブル資料（ENS）は、28日に西日本付近に進むトラフが深くなり、動きが遅くなった。地上の気圧配置は、29日に東シナ海に移動する高気圧の動きが遅くなった。

・28日のトラフについては、日本モデルとNCEPが初期値変わりしてECMに近い予想になった。30日から12月1日については、北海道付近を進むトラフの予想にモデル間の差がある。

・12月1日は、NCEPのみ低気圧を千島近海に予想している。ENSは、同様の予想をするメンバーを含むが数は少ない。

## ◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

・予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。